

平成25年度

事業報告書

自：平成25年4月 1日

至：平成26年3月31日

公益財団法人 京都技術科学センター

平成25年度事業報告

I 公益目的事業1 (研究助成事業)

研究機関等に所属する研究者が行う研究開発を支援・促進することによって、技術立国日本の発展に関する科学技術に寄与するため、その研究開発等に必要な経費を助成するとともに、次年度に助成対象とする研究開発テーマを募集し、選考した。

1 平成25年度研究開発助成金の交付

平成24年度センター技術委員会で審査選考した研究者の研究開発助成テーマの研究開発に必要な経費を助成した。

- ア 名称 平成25年度研究開発助成金
- イ 助成金総額 1,040万円
- ウ 助成テーマ 10テーマ (一覧表は、別記のとおり (応募56テーマ))
- エ 研究期間 平成25年4月から平成26年3月まで 1年間
- オ 研究成果 別添「研究助成成果報告書」のとおり

平成25年度研究開発助成テーマ等一覧表

No.	研究開発助成テーマ	助成金交付対象者			助成額 (万円)
		所 属	役職等	氏 名	
1	液相プロセスによるグラフェン-金属複合体の効率的合成	岡山大学異分野融合先端研究コア	助教 工学博士	仁科 勇太	100
2	次世代電解質媒体を目指した超分子イオン液体ゲルの開発	神戸大学大学院工学研究科応用化学専攻	准教授 工学博士	丸山 達生	100
3	人工ナノ磁性体における表面弾性波による磁化反転過程の研究	兵庫県立大学高度産業科学技術研究所	准教授 理学博士	山口 明啓	100
4	シルクフィブロインの結晶/非晶構造を利用した抗菌性シルク素材の開発	奈良女子大学 研究院 生活環境科学系衣環境学領域	助教 工学博士	橋本 朋子	100
5	高強度と高電気伝導特性を兼備するCNT単分散アルミニウム基複合材料の開発	大阪大学接合科学研究所	特任講師 工学博士	今井 久志	100
6	側鎖配向が関与した光学材料用高分子フィルムの分子設計	北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス研究科	助教 理学博士	信川 省吾	110

7	高活性反応表面を有する多孔性材料のデザインと触媒機能に関する研究	京都大学大学院理学研究科化学専攻	助教 工学博士	金森 主祥	110
8	レドックスフロー電池の活物質、電解質、溶媒の全て機能を兼ね備えたイオン液体の開発	鳥取大学大学院工学研究科 化学・応用生物工学専攻	准教授 工学博士	野上 敏材	110
9	不活性結合活性化のための電子豊富なピンサー型錯体の創製と触媒反応への応用	大阪市立大学大学院理学研究科物質分子系専攻錯体化学研究室	特任講師 工学博士	亀尾 肇	110
10	高性能磁気転写膜用Bi置換ガーネットのガラス基板上への作製と最適バッファ層の探索	神戸市立工業高等専門学校 電子工学科	准教授 工学博士	西 敬生	100

2 平成26年度研究開発助成の研究テーマの募集と選考

40歳未満の大学教員等が実施する研究開発を支援するため、平成26年度に助成する研究開発助成テーマを募集し、選考委員会を開催して選考のうえ、理事会（平成26年3月25日開催）の承認を得て助成テーマを決定した。

ア 助成対象者 北陸地方から中・四国地方までの地域にある国公立大学等の理工学部系に在籍する40歳未満の若手研究者

イ 研究分野 新素材の開発及び機能に関する基礎的並びに応用的な研究

ウ 募集期間 平成25年11月1日から平成26年1月20日まで

エ 応募テーマ数 55テーマ

オ 助成テーマ数 11テーマ

カ 選考委員会の開催状況

開催年月日	場 所	主 な 議 題
第1回 平成26年1月31日 ～2月14日	(書面審査)	平成26年度研究開発助成テーマの選考について(第1次審査)
第2回 平成26年2月25日	センター 会議室	平成26年度研究開発助成テーマの選考について(第2次審査)

II 公益目的事業2（人材育成事業）

技術立国日本の発展に寄与するため、科学技術の振興とそれを担う人づくりに関する以下の事業を行った。

1 技術セミナー

新素材の開発、従来材の新しい性能発現プロセスから、最終使用目的に合致した材料プロセス等の動向や可能性について理解を深めるとともに、新技術の開発や生産技術及

び加工技術の向上を図ることを目的として、技術セミナーを開催した。

ア 名称 平成25年度ものづくり基盤技術セミナー

イ 共催 公益財団法人京都技術科学センター
京都府中小企業技術センター

ウ 内容

	開催日・テーマ等
第1回	日時 平成25年10月9日(水) 13:00~16:30 会場 京都府産業支援センター(5階 研修室) テーマ 透明酸化物材料で創る未来のディスプレイ~次世代ディスプレイを実現する新材料と高性能化技術~ 講師 奈良先端科学技術大学院大学 物質創成科学研究科 教授 浦岡 行治 氏 参加者 23名
第2回	日時 平成25年11月22日(金) 13:00~16:30 会場 公益財団法人京都技術科学センター会議室 テーマ 金属疲労の基礎と安全設計の試み 講師 岐阜大学工学部機械工学科設計力学講座 教授 植松 美彦 氏 参加者 21名
第3回	日時 平成26年3月5日(水) 13:00~16:00 会場 京都府産業支援センター(5階 研修室) テーマ 硬さ評価の基礎とナノインデンテーションの最新動向 講師 一般財団法人機械振興協会 技術研究所技術開発センター 技術副主幹 藤塚 将行 氏 参加者 18名
第4回	日時 平成26年3月20日(木) 13:00~15:45 会場 京都府産業支援センター(5階 第4会議室ほか) テーマ ナノインデンテーション試験機の活用~新規導入機器操作説明会~ 講師 エリオニクス株式会社 応用技術課 伊藤拓嗣 氏 参加者 11名

2 技術研究会

(1) CAE技術研究会

設計・製造分野においてCAE(Computer Aided Engineering)が普及してきたが、CAEを「ものづくり」の中で適切に活用するためには、まだまだ乗り越えなければならない課題がある。

そのため、CAEの概説から実習、事例研究を通じて、生産プロセス開発に必要なデータの収集及び解析など基礎的な学習を行い、設計者が日常の仕事に活用できる技術を修得するためのCAE技術研究会を開催した。

ア 名称 CAE技術研究会

イ 共 催 公益財団法人京都技術科学センター
 京都府中小企業技術センター
 京都府織物・機械金属振興センター

ウ 場 所 京都府産業支援センター

エ 参加者 関連企業の研究者・技術者（14名）

オ 講 師 オムロン㈱ものづくり革新本部 生産技術部 田村 隆徳 氏
 株式会社島津製作所 CS統括部 笠井 貴之 氏

カ 内 容

例 会	開 催 日	内 容
平成25年		
4 月 度	4 月 1 9 日 (金)	ADINAの基本的な操作の習得 CAEの総論と線形構造解析の座学
5 月 度	5 月 1 0 日 (金)	複雑な形状の線形解析の習得 材料力学の習得
6 月 度	5 月 2 5 日 (金)	線形構造解析の実習
	6 月 1 4 日 (金)	複雑な形状の線形解析の作成 非線形構造解析の習得
7 月 度	6 月 2 8 日 (金)	CAEの非線形解析実習
	7 月 1 2 日 (金)	熱の定常及び非定常解析の習得
8 月 度	7 月 2 6 日 (金)	CAEの熱モデル解析実習
	8 月 9 日 (金)	熱応力解析の習得
9 月 度	8 月 2 3 日 (金)	CAEの熱応力モデル解析実習
	9 月 1 3 日 (金)	振動解析の習得
10 月 度	9 月 2 3 日 (金)	事例研究の準備
	10 月 1 日 (火)	CAE活用セミナー
11 月 度	10 月 1 1 日 (金)	事例研究
	11 月 8 日 (金)	事例研究
12 月 度	12 月 1 3 日 (金)	事例研究
平成26年		
1 月 度	1 月 8 日 (金)	事例研究
2 月 度	2 月 1 4 日 (金)	事例研究
3 月 度	3 月 1 4 日 (金)	成果発表会

※開催時間は、いずれも午前10時から午後5時

(2) DLC製膜技術研究会

環境問題やエネルギー問題がクローズアップされるなか、高硬度、低摩擦係数、耐食性など機械的特性に優れたDLC (Diamond-Like Carbon) 膜が低環境負荷技術として注目され、自動車部品や産業機器部品、金型等に適用されており今後さらに用途が拡大していくことが予測される。

このため、実際の製品などへの製膜実験を実施し、耐久性や性能を評価するとともに、参加企業の抱える課題解決やDLC皮膜の新規用途展開の可能性を検討するためのDLC製膜技術研究会を開催した。

例会	開催日・テーマ等
7月度	日時 平成25年7月24日(水) 10:00~15:00 場所 京都府中小企業技術センター企業連携室 内容 ①講演 「DLC製膜の概要と現状について」 京都工芸繊維大学大学院機械システム工学部門助教 中村守正氏 ②意見交換 参加者 8名
8月度	日時 平成25年8月26日(月) 場所 参加企業 内容 現地調査
9月度	日時 平成25年9月10日(火)及び9月20日(金) 場所 京都府中小企業技術センター研究室 内容 実験計画等
10月度	日時 平成25年10月17日(木) 場所 京都府中小企業技術センター研究室 内容 製膜実験
11月度	日時 平成25年11月11日(月) 場所 京都府中小企業技術センター研究室 内容 製膜実験、膜評価・スクラッチテスト
平成26年 1月度	日時 平成26年1月16日(水) 場所 京都工芸繊維大学研究室 内容 中間報告
2月度	日時 平成26年2月4日(火) 場所 京都府中小企業技術センター研究室 内容 製膜実験
3月度	日時 平成26年3月3日(月)及び3月13日(木) 場所 京都府中小企業技術センター研究室 内容 製膜実験 日時 平成26年3月24日(月) 14:00~17:00 場所 京都府中小企業技術センター企業連携室ほか 内容 コーディネーター；京都工芸繊維大学大学院助教 中村守正氏 ①参加企業の製膜実験経過報告とディスカッション ②今後の課題と来年度に向けた取り組みについて ③DLC評価機器の紹介と見学 参加者 7名

(3) 京都品質工学研究会

製造業では、ユーザーのニーズにマッチした魅力的な製品を生み出すことも重要であるが、その製品を低コストで製造上のトラブルも市場クレームも起こさない、安定した製品・設計・製造技術を開発することも大きな課題となっている。

品質工学は、将来起こるかもしれない多くの問題を未然に防止し、安定した設計・製造技術を効率よく開発するための技術的方法論として広く活用されている。

このため、品質工学を技術者が学び、実践し、交流する場として、効率的な技

術・製品開発を実現するための技術力を持つ人材の育成を目的として品質工学研究会を開催した。

ア 名 称 京都品質工学研究会
 イ 共 催 公益財団法人京都技術科学センター
 京都府中小企業技術センター
 ウ 場 所 京都府産業支援センター
 エ 参加者 法人会員 24、個人会員 6
 オ 内 容

例 会	日 時	内 容
特別例会	5月10日(金)	関西品質工学研究会との共同例会
第1回	6月14日(金)	講演「品質工学の基礎と基本機能」及び事例研究 講師：コニカミノルタ(株) 芝野 広志氏
基礎学習会	6月26日(水)	品質工学の基礎の講演と実習 講師：京都府特別技術指導員 近本 武次氏
第2回	7月12日(金)	講演「20世紀のパラメータ設計と問題点」及び相談 講師：(有)アイテックインターナショナル中野恵司氏
第3回	9月13日(金)	講演「機能性評価について」及び事例発表 講師：コニカミノルタ(株) 芝野 広志氏
第4回	10月11日(金)	関西地区品質工学3研究会合同シンポジウム
第5回	11月8日(金)	幹事会企画講演会
第6回	12月13日(金)	指導員による講演と会員事例発表とグループディスカッション 講師：コニカミノルタ(株) 芝野 広志氏
第7回	2月14日(金)	講演「機能性評価～考え方と進め方～」と会員事例発表 講師：(有)アイテックインターナショナル 中野恵司氏
第8回	3月14日(金)	指導員による講演と会員事例発表とグループディスカッション 講師：コニカミノルタ(株) 芝野 広志氏

3 テクノアイデアコンテスト

将来の産業、科学技術の発展を担うベンチャー精神に富む起業家や、柔軟でユニークな発想をもつ研究者育成のため、大学の部及び高校の部に分けてテクノアイデアコンテストを開催し、専門家による審査・選考のうえ表彰し、副賞を授与するとともに、特別講演や特許出願等の相談を行った。

コンテスト終了後は、受賞者・参加者及び選考委員等による情報交換のための交流会を開催した。

(1) 主催等

ア 名 称 テクノ愛2013
 イ 主 催 テクノ愛実行委員会
 ウ 共 催 公益財団法人京都技術科学センター
 京都大学産官学連携本部

- エ 後 援 近畿経済産業局、京都府教育委員会、京都市教育委員会
NHK京都放送局、日本ベンチャー学会、関西ベンチャー学会
- オ 協 賛 独立行政法人科学技術振興機構、京都工芸繊維大学ベンチャー・
ラボラトリー、大阪大学産学連携本部、神戸大学連携創造本部、
大阪電気通信大学、関西サイエンス・フォーラム
- カ 協 力 京都大学生生活協同組合
- (2) 募集等
- ア 募集対象 大学の部・・・高等専門学校4・5年生、大学生、大学院生
高校の部・・・高校生、高等専門学校1～3年生
- イ 募集期間 平成25年6月10日～平成25年9月12日
- ウ 応募総数 高校の部 233件
大学の部 158件
合 計 391件

(3) コンテストの開催

書類選考により選ばれた大学の部、高校の部それぞれ9件についてのプレゼンテーションによる発表・審査と交流会を開催した。

- ア 日 時 平成25年11月23日(土・祝) 9:30～18:00
- イ 場 所 ①発表会：京都大学「北部総合教育研究棟(益川記念館)」
②交流会：京都大学正門横“カンフォーラ”
- ウ 入 賞 高校の部 9件
大学の部 9件
入賞の内容は別記のとおり
- エ 特別講演 「アイデアを形にすること～起業という選択肢～」
株センサーズ・アンド・ワークス 代表取締役 堀江 聡 氏
- オ 特許相談 特許電子図書館による特許情報の検索方法や出願方法に係る相談
- カ 来 聴 者 110名

テクノ愛2013入賞アイデア等一覧表

<高校の部>

賞 名	入賞アイデア	学 校 名	入賞者氏名
グランプリ	水質浄化システム「バイオエンジン」	青森県立名久井 農業高等学校	佐々木 愛 種市 雪菜 松橋 奈美 佐藤 晴香 四戸 美希 葛形 小雪 野田 寿樹
準グランプリ	お子様セロリ	青森県立名久井 農業高等学校	渡部 叶子 河原木優里香 佐々木菜摘 畑山 静香

優 秀 賞	The utilization of the powder waste of Tatsuyama-ishi as an efficient indoor coating material.	兵庫県立加古川東高校	岩本 有加 生田恭太郎 伊東万奈瑞 岡本奈緒美 渡邊 有美 竹谷 亮人 松下紗矢香
奨 励 賞	食べれんげ (レンゲの改良)	京都府立洛北高校	中川万理香
	モップ型床壁洗浄器	関西大学高等部	三好 稀夕
	視覚障害があっても一緒に遊べる玩具「さわってワン」	新居浜工業高等専門学校	白石 乙渡
	ペットボトル式エアコンプレッサー「ペットコン」	京都市立洛陽工業高校	堀口 椋太
	ビーズの意外な使い道	関西大学高等部	藪下 侑也
	いつでもコーヒー1杯分 ～いっぱい×2君～	京都市立洛陽工業高校	西村 達也

<大学の部>

賞 名	入賞アイデア	学 校 名	入賞者氏名
グランプリ	ふうリン	京都工芸繊維大学 大学院	小林美沙枝 小山 純平 竹林 修 立石知佳子
準グランプリ	へそくリスト	京都工芸繊維大学 大学院	岡嶋 秀記 立石知佳子 土坂 恭斗 三田地博史
優 秀 賞	配置非常用持ち出し袋サービス	福井大学	東 優希
奨 励 賞	嚙下困難者のためのゲル状薬～薬をより飲みやすくするために～	宮城大学	早坂 夏実 藤倉 真澄
	世話焼きおむすび	京都工芸繊維大学 大学院	廣瀬 哲 井手麻友美 米坂 壮史 呉 霞
	磁力を利用したアイデア通線ツール	福井大学大学院	赤尾 拓哉 寺崎 寛章
奨 励 賞	立てルンです	福井大学大学院	魚住 洋佑
	キッチンナイフ シャープニャー	福井大学	天野 直
	越前和紙ネクタイ	福井大学	山田 忠明

<テクノ愛賞>

“食べれんげ（レンゲの改良）” 京都府立洛北高等学校 中川 万理香

(4) 委員会開催状況

ア テクノ愛実行委員会

開催年月日	場 所	主 な 議 題
第1回 平成25年6月10日	書面会議	1 平成25年度テクノアイデアコンテストの 応募等について 2 審査・選考方法について
第2回 平成25年11月23日	京都大学	1 コンテスト、表彰、交流会について 2 次年度計画について

イ テクノ愛選考委員会

開催年月日	場 所	主 な 議 題
第1回 平成25年9月17日 ～24日 第2回 平成25年10月5日 ～15日	(書面審査)	1 平成24年度応募アイデアの選考について (第1次審査) 2 特許調査について
第3回 平成25年11月23日	京都大学	1 平成24年度テクノアイデアコンテストの 審査について (第2次審査)

4 科学館・技術館訪問研修

21世紀をより豊かで夢のある社会にするためには、科学技術の進展が不可欠であり、創造性豊かな若者を育てることが求められている。

そのためには、青少年のときから科学技術の楽しさ、おもしろさなどを体験し、学ぶことが極めて重要である。

そこで、生命誕生から38億年間、連綿とつづき多様化してきた生きものの歴史を読み解き、その中での人間の生き方を考えるというコンセプトを基本に、生きものを見つめ、研究し、その過程や成果を表現することを通して、自然・生命・人間について考える“生命誌研究館”（大阪府高槻市）を訪問し、高校生と先生方が一緒に学ぶ研修会を開催した。

- (1) 名 称 科学館・技術館訪問研修
- (2) 日 時 平成25年8月7日（木）13:30～16:00
- (3) 場 所 JT 生命誌研究館
大阪府高槻市紫町 1-1
- (4) 参加者 高校生及び教諭 32名
- (5) 主 催 公益財団法人京都技術科学センター
- (6) 後 援 近畿経済産業局、京都府教育委員会、京都市教育委員会
- (7) 内 容 中村桂子館長による生命誌のお話をお聞きしたのち、館内にある“生

命誌のお散歩”、“生命誌の階段”、“エルマー・バイオヒストリーの冒険”、“細胞展”などの展示についてスタッフの方からの説明とDNA鏡に映るDNAや顕微鏡での細胞を観察した。

5 おもしろサイエンス

小学生に、科学実験・工作イベントを通じて、学び・知り・作ることの喜び、楽しさを体験させ、科学への関心や理解を深めるため、冬休み・春休みを利用しての実験教室を開催した。

(1) 主催等

- ア 主 催 公益財団法人京都技術科学センター
イ 後 援 京都府教育委員会
京都市教育委員会
ウ 協 力 NPO法人サイエンスEネット

(2) 開催状況

第1回

- ア 名 称 クリスマスの実験教室
イ 日 時 平成25年12月23日(月・祝) 13:00~16:00
ウ 場 所 公益財団法人京都技術科学センター ホール
エ 参加者 小学生40人(親子32組)
オ プログラム

① シャカシャカライト

シャカシャカ振るだけで点灯するライトを工作し、発電発光させた。
工作過程では、発電機のもととなったファラデーの電磁誘導の法則を学んだ。

② サボニウス型風車で風力発電

大型扇風機で、サボニウス型風車を回転させて、クリスマスのイルミネーションを点灯させ、実演により風力発電機をもとに発電の原理を学んだ。

③ ふうふう発電機

舞台実験で観察し、発電の原理を理解した知識をもとに、サボニウス型風車を活用した手作りの風力発電機“ふうふう発電機”を工作した。
また、工作した“ふうふう発電機”を大型扇風機で稼働させて赤色・青色ダイオードランプを点灯した。

第2回

- ア 名 称 春の実験教室
イ 日 時 平成26年3月21日(金・祝日) 13:00~16:00
ウ 場 所 公益財団法人京都技術科学センター ホール
エ 参加者 小学生43名(親子36組)
オ プログラム

① 果物電池の工作

レモンを使った果物電池を工作し、小さな電流でも点灯するダイオードを光らせ、果物や野菜で電気を起こすことができる原理を学んだ。

② スプーン電池の工作

ステンレス製のスプーンを、食塩水を十分浸したしたティッシュペーパーでくるみ、その上からアルミ箔でくるんでスプーン電池を作り、このスプーン電池と電子メロディを導線をつなぎ、電子メロディを鳴らした。

- ③ 竹炭電池の工作
ステンレス製のスプーンの代わりに竹炭を使って竹炭電池を工作した。
- ④ バンデグラフ起電機による静電気の実験
静電発電機の1種であるバンデグラフ起電機(フライングバンデ)を手作りし、先端につけたマイクロファイバーを飛ばして放電の様子を観察した。
また、アルミ箔に接したゴムバンドを、内蔵のモーターで回転させ、生じた摩擦により、筒状のアルミ箔に溜まった静電気がマイクロファイバーとの間で放電することを学んだ。

6 科学技術情報等提供

ホームページを活用し、センターが実施するイベント情報を提供することによって、利用者やイベント参加者の拡大を図った。

また、研究開発助成テーマ、テクノアイデアコンテスト入賞アイデア、おもしろサイエンスのプログラム等を掲載し、啓発に努めた。

情報公開としては、当センターの沿革・概要及び事業計画・事業実施報告並びに収支予算・決算状況等を掲載した。

*ホームページアドレス：<http://www.khc.or.jp>

III 収益事業

公益目的事業が、より効果的、かつ、安定的に推進できるよう、本法人が所有する建物・土地を原資として、研究室、事務室、駐車場として賃貸するとともに、会議室、ホールを貸し出し、その収益を公益目的事業の実施に活用した。

1 研究施設等の貸与 ((1)、(4) 及び(5)は、平成26年3月31日現在)

(1) 研究室・事務室の活用団体数	26 団体	(平成24年度	21 団体)
(2) 会議室等利用件数	61 件	(同	69 件)
(3) 工作機械使用時間数	9 時間	(同	0 時間)
(4) 駐車場活用台数	41 台	(同	41 台)
(5) 収納庫活用室数	21 室	(同	20 室)

2 建物・付属設備等の管理

主な修繕・改修工事として、次の工事を行った。

- (1) 本館1階14号室エアコン更新
- (2) 本館1階東側女子トイレ詰り通管作業
- (3) 本館地階雑排水槽電極調整工事

IV センターの運営

1 センターの概要 (平成26年3月31日現在)

設 立	昭和17年12月28日 (財団法人京都技術科学館として設立)
	昭和35年12月27日 (財団法人近畿地方発明センターに名称変更)
	平成24年4月1日 (公益財団法人京都技術科学センターに名称変更)
評 議 員	14名
役 員	15名 (理事13名 監事2名)
委 員	選考委員会委員 6名
	テクノ愛実行委員会委員 6名
	同 選考委員会委員 13名

2 定時理事会の開催状況

開催年月日	場 所	主 な 議 題
第1回 平成25年 5月29日	センター会議室	I 決議事項 1 平成24年度事業報告の件 2 平成24年度決算の件 3 平成25年度定時評議員会の招集の件 II 報告事項 1 建物賃貸借契約者の異動状況について
第2回 平成26年 3月25日	センター会議室	I 決議事項 1 平成26年度事業計画書の件 2 平成26年度収支予算書等の件 3 内部諸規程の改定の件 4 平成26年度研究開発助成金交付対象者等の決定の件 II 報告事項 1 代表理事及び業務執行理事の職務執行報告について 2 建物賃貸借契約者の異動状況について

3 定時評議員会の開催状況

開催年月日	場 所	主 な 議 題
平成25年 6月13日	センター会議室	I 決議事項 1 評議員選任の件 2 平成24年度事業報告の件 3 平成24年度決算承認の件 II 報告事項 1 建物賃貸借契約の状況について

4 監事監査

開催年月日	場 所	内 容
平成25年 5月20日	センター会議室	平成24年度事業報告及び決算の監査

事業報告の附属明細書

定款第8条第1項第2号に規定する事業報告の明細書は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する平成25年度事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。

貸借対照表

平成26年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	13,432,281	9,495,267	3,937,014
未収金	1,995,285	1,440,084	555,201
仮払金	28,693	14,482	14,211
流動資産合計	15,456,259	10,949,833	4,506,426
2 固定資産			
(1) 基本財産			
土地	12,600,000	12,600,000	0
土地共有権	137,515,000	137,515,000	0
建物（本館及び分館）	77,654,840	81,506,298	△ 3,851,458
基本財産合計	227,769,840	231,621,298	△ 3,851,458
(2) 特定資産			
基本預金	95,000,000	95,000,000	0
役員退職慰労引当資産	2,530,000	2,210,000	320,000
減価償却引当資産	113,998,758	112,694,161	1,304,597
事業安定積立資産	5,000,000	5,000,000	0
納税積立資産	2,300,000	2,300,000	0
建物維持積立資産	21,000,000	21,000,000	0
受入保証金引当資産	33,502,000	39,147,000	△ 5,645,000
特定資産合計	273,330,758	277,351,161	△ 4,020,403
(3) その他固定資産			
建物（倉庫）	1	1	0
建物付属設備	13,446,780	16,150,234	△ 2,703,454
構築物	215,521	230,187	△ 14,666
工作機械・機器	6	6	0
什器備品	2,832	9,020	△ 6,188
ソフトウェア	155,372	35,000	120,372
差入保証金	50,000	50,000	0
その他固定資産合計	13,870,512	16,474,448	△ 2,603,936
固定資産合計	514,971,110	525,446,907	△ 10,475,797
資産合計	530,427,369	536,396,740	△ 5,969,371
II 負債の部			
1 流動負債			
未払費用	181,995	136,786	45,209
前受金	849,663	326,626	523,037
預り金	231,531	298,766	△ 67,235
賞与引当金	363,000	363,000	0
未払法人税等	70,000	70,000	0
未払消費税	1,446,600	1,309,600	137,000
流動負債合計	3,142,789	2,504,778	638,011
2 固定負債			
役員退職慰労引当金	2,530,000	2,210,000	320,000
受入保証金	33,502,000	39,147,000	△ 5,645,000
固定負債合計	36,032,000	41,357,000	△ 5,325,000
負債合計	39,174,789	43,861,778	△ 4,686,989
III 正味財産の部			
1 指定正味財産			
寄附金	20,000	20,000	0
指定正味財産合計	20,000	20,000	0
（うち基本財産への充当額）	(0)	(0)	(0)
（うち特定資産への充当額）	(20,000)	(20,000)	(0)
2 一般正味財産			
一般正味財産合計	491,232,580	492,514,962	△ 1,282,382
（うち基本財産への充当額）	(227,769,840)	(231,621,298)	(△ 3,851,458)
（うち特定資産への充当額）	(237,298,758)	(235,994,161)	(1,304,597)
正味財産合計	491,252,580	492,534,962	△ 1,282,382
負債及び正味財産合計	530,427,369	536,396,740	△ 5,969,371

貸借対照表内訳表

平成26年3月31日現在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合 計
I 資産の部					
1 流動資産					
現金預金	6,919,788	5,807,608	704,885		13,432,281
未 収 金	380,980	1,575,785	38,520		1,995,285
仮 払 金	7,813	20,880	0		28,693
流動資産合計	7,308,581	7,404,273	743,405		15,456,259
2 固定資産					
(1) 基本財産					
土 地	0	12,600,000	0		12,600,000
土地共有権	25,371,517	108,966,886	3,176,597		137,515,000
建物（本館及び分館）	14,327,318	61,533,696	1,793,826		77,654,840
基本財産合計	39,698,835	183,100,582	4,970,423		227,769,840
(2) 特定資産					
基本預金	0	0	95,000,000		95,000,000
役員退職慰労引当資産	1,905,596	249,711	374,693		2,530,000
減価償却引当資産	22,863,130	88,273,360	2,862,268		113,998,758
事業安定積立資産	0	5,000,000	0		5,000,000
納税積立資産	0	2,300,000	0		2,300,000
建物維持積立資産	3,874,500	16,640,400	485,100		21,000,000
受入保証金引当資産	0	33,502,000	0		33,502,000
特定資産合計	28,643,226	145,965,471	98,722,061		273,330,758
(3) その他固定資産					
建物（倉庫）	0	1	0		1
建物付属設備	1,721,758	11,509,451	215,571		13,446,780
構築物	39,763	170,780	4,978		215,521
工作機械・機器	0	6	0		6
什器備品	387	2,250	195		2,832
ソフトウェア	94,217	50,030	11,125		155,372
差入保証金	9,225	39,620	1,155		50,000
その他固定資産合計	1,865,350	11,772,138	233,024		13,870,512
固定資産合計	70,207,411	340,838,191	103,925,508		514,971,110
資産合計	77,515,992	348,242,464	104,668,913		530,427,369
II 負債の部					
1 流動負債					
未払費用	20,445	154,084	7,466		181,995
前受金	0	849,663	0		849,663
預り金	93,017	138,514	0		231,531
賞与引当金	218,000	107,000	38,000		363,000
未払法人税等	0	70,000	0		70,000
未払消費税	0	1,446,600	0		1,446,600
流動負債合計	331,462	2,765,861	45,466		3,142,789
2 固定負債					
役員退職慰労引当金	1,905,596	249,711	374,693		2,530,000
受入保証金		33,502,000			33,502,000
固定負債合計	1,905,596	33,751,711	374,693		36,032,000
負債合計	2,237,058	36,517,572	420,159		39,174,789
III 正味財産の部					
1 指定正味財産					
寄附金	0	0	20,000		20,000
指定正味財産合計	0	0	20,000		20,000
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	()	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(20,000)	()	(20,000)
2 一般正味財産					
一般正味財産合計	75,278,934	311,724,892	104,228,754		491,232,580
(うち基本財産への充当額)	(39,698,835)	(183,100,582)	(4,970,423)	()	(227,769,840)
(うち特定資産への充当額)	(26,737,630)	(112,213,760)	(98,347,368)	()	(237,298,758)
正味財産合計	75,278,934	311,724,892	104,248,754		491,252,580
負債及び正味財産合計	77,515,992	348,242,464	104,668,913		530,427,369

正味財産増減計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益	52,910,854	51,801,327	1,109,527
施設使用料	43,531,271	42,374,104	1,157,167
収納庫使用料	1,682,100	1,688,925	△ 6,825
駐車場使用料	7,697,483	7,738,298	△ 40,815
② 特定資産運用益	576,939	640,882	△ 63,943
特定資産受取利息	576,939	640,882	△ 63,943
③ 事業収益	915,000	582,000	333,000
技術セミナー事業収益	35,000	53,000	△ 18,000
技術研究事業収益	880,000	529,000	351,000
④ 施設設備運用益	1,445,739	1,554,207	△ 108,468
施設使用料	786,600	786,600	0
会議室等使用料	655,359	767,607	△ 112,248
開放機器貸付料	3,780	0	3,780
⑤ 光熱水使用収益	5,307,886	4,294,977	1,012,909
電気使用料	5,266,748	4,253,230	1,013,518
水道等使用料	41,138	41,747	△ 609
⑥ 雑収益	74,868	57,383	17,485
受取利息	4,249	4,692	△ 443
自動販売機商品売上手数料	63,019	48,791	14,228
雑収益	7,600	3,900	3,700
経常収益計	61,231,286	58,930,776	2,300,510
(2) 経常費用			
① 事業費	59,877,972	59,518,821	359,151
役員報酬	3,967,439	3,967,439	0
給料手当	8,399,523	7,279,395	1,120,128
臨時雇賃金	177,580	151,866	25,714
賞与引当金繰入額	325,000	325,000	0
役員退職慰労引当金繰入額	272,608	272,608	0
福利厚生費	1,308,956	946,536	362,420
会議費	265,255	371,074	△ 105,819
旅費交通費	356,590	238,978	117,612
通信運搬費	525,006	565,710	△ 40,704
減価償却費	6,795,902	6,712,879	83,023
消耗什器備品費	105,720	119,195	△ 13,475
消耗品費	466,972	355,960	111,012
賞品費	1,179,701	1,188,995	△ 9,294
修繕費	366,372	720,499	△ 354,127
印刷製本費	365,960	470,338	△ 104,378
電力費	7,155,287	5,803,989	1,351,298
光熱水料費	347,684	371,176	△ 23,492
賃借料	832,135	830,179	1,956
保険料	246,966	238,746	8,220
諸謝金	2,877,500	2,693,700	183,800
租税公課	10,210,446	10,130,412	80,034
支払負担金	142,358	71,070	71,288
助成金	10,400,000	12,600,000	△ 2,200,000
渉外費	5,250	5,250	0
委託費	2,691,983	2,992,724	△ 300,741
雑費	89,779	95,103	△ 5,324

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
② 管理費	2,985,196	2,986,672	△ 1,476
役員報酬	689,725	689,725	0
給料手当	1,038,110	865,553	172,557
賞与引当金繰入額	38,000	38,000	0
役員退職慰労引当金繰入額	47,392	47,392	0
福利厚生費	166,827	147,606	19,221
会議費	74,161	21,646	52,515
旅費交通費	68,340	88,310	△ 19,970
通信運搬費	24,112	30,921	△ 6,809
減価償却費	145,012	143,916	1,096
消耗什器備品費	3,007		
消耗品費	31,838	52,650	△ 20,812
修繕費	18,277	703	17,574
電力費	109,424	90,625	18,799
光熱水料費	7,254	7,800	△ 546
賃借料	88,622	72,711	15,911
保険料	3,954	3,954	0
諸謝金	233,000	384,000	△ 151,000
租税公課	138,254	138,788	△ 534
負担金	4,877	18,430	△ 13,553
渉外費	0	43,954	△ 43,954
委託費	48,994	85,885	△ 36,891
雑費	6,016	14,103	△ 8,087
經常費用計	62,863,168	62,505,493	357,675
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 1,631,882	△ 3,574,717	1,942,835
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	△ 1,631,882	△ 3,574,717	1,942,835
2 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
① 雑益	419,500	443,425	△ 23,925
雑益	419,500	443,425	△ 23,925
經常外収益計	419,500	443,425	△ 23,925
(2) 經常外費用			
① 什器備品除却損	0	5,035	△ 5,035
什器備品除却損	0	5,035	△ 5,035
經常外費用計	0	5,035	△ 5,035
当期經常外増減額	419,500	438,390	△ 18,890
他会計振替額	0	0	0
当期税引前一般正味財産増減額	△ 1,212,382	△ 3,136,327	1,923,945
法人税、住民税及び事業税	70,000	70,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 1,282,382	△ 3,206,327	1,923,945
一般正味財産期首残高	492,514,962	495,721,289	△ 3,206,327
一般正味財産期末残高	491,232,580	492,514,962	△ 1,282,382
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	20,000	20,000	0
指定正味財産期末残高	20,000	20,000	0
III 正味財産期末残高	491,252,580	492,534,962	△ 1,282,382

正味財産増減計算書内訳表

平成25年4月1日から平成26年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計 収益事業	法人会計	内部取引控除	合 計
	公1	公2	共通	計				
I 一般正味財産増減の部								
1 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産運用益	0	0	0	0	52,910,854	0	0	52,910,854
施設使用料					43,531,271	0		43,531,271
収納庫使用料					1,682,100	0		1,682,100
駐車場使用料					7,697,483	0		7,697,483
② 特定資産運用益	0	0	73,058	73,058	258,701	245,180	0	576,939
特定資産受取利息			73,058	73,058	258,701	245,180		576,939
③ 事業収益	0	915,000	0	915,000	0	0	0	915,000
技術セミナー事業収益		35,000		35,000	0	0		35,000
技術研究会事業収益		880,000		880,000	0	0		880,000
④ 施設設備運用益	0	0	0	0	1,445,739	0	0	1,445,739
施設使用料					786,600	0		786,600
会議室等使用料					655,359	0		655,359
開放機器貸付料					3,780	0		3,780
⑤ 光熱水使用収益	0	0	0	0	5,307,886	0	0	5,307,886
電気使用料					5,266,748	0		5,266,748
水道等使用料					41,138	0		41,138
⑥ 雑収益	0	0	1,006	1,006	73,740	122	0	74,868
受取利息			1,006	1,006	3,121	122		4,249
自動販売機商品売上手数料					63,019	0		63,019
雑収益					7,600	0		7,600
経常収益計	0	915,000	74,064	989,064	59,996,920	245,302	0	61,231,286
(2) 経常費用								
① 事業費	14,446,396	12,644,081	4,636,324	31,726,801	28,151,171		0	59,877,972
役員報酬	1,821,417	1,686,360	0	3,507,777	459,662			3,967,439
給料手当	1,076,506	4,548,631	0	5,625,137	2,774,386			8,399,523
臨時雇賃金	0	177,580	0	177,580	0			177,580
賞与引当金繰入額	41,747	176,253	0	218,000	107,000			325,000
役員退職慰労引当金繰入額	125,152	115,872	0	241,024	31,584			272,608
福利厚生費	216,697	681,722	0	898,419	410,537			1,308,956
会議費	16,000	249,255	0	265,255	0			265,255
旅費交通費	10,740	345,850	0	356,590	0			356,590
通信運搬費	55,034	349,024	55,752	459,810	65,196			525,006
減価償却費	0	0	1,159,585	1,159,585	5,636,317			6,795,902
消耗什器備品費	0	0	32,157	32,157	73,563			105,720
消耗品費	25,174	332,804	33,835	391,813	75,159			466,972
賞品費	0	1,179,701	0	1,179,701	0			1,179,701
修繕費	0	0	100,719	100,719	265,653			366,372
印刷製本費	140,910	225,050	0	365,960	0			365,960
電力費	0	0	873,971	873,971	6,281,316			7,155,287
光熱水料費	0	0	57,938	57,938	289,746			347,684
賃借料	0	150,900	603,056	753,956	78,179			832,135
保険料	0	21,970	31,577	53,547	193,419			246,966
諸謝金	509,000	2,061,000	150,000	2,720,000	157,500			2,877,500
租税公課	0	0	1,084,011	1,084,011	9,126,435			10,210,446
支払負担金	0	75,135	40,732	115,867	26,491			142,358
支払助成金	10,400,000	0	0	10,400,000	0			10,400,000
渉外費	0	5,250	0	5,250	0			5,250
委託費	0	240,000	391,219	631,219	2,060,764			2,691,983
雑費	8,019	21,724	21,772	51,515	38,264			89,779
② 管理費						2,985,196	0	2,985,196
役員報酬						689,725		689,725
給料手当						1,038,110		1,038,110
賞与引当金繰入額						38,000		38,000
役員退職慰労引当金繰入額						47,392		47,392
福利厚生費						166,827		166,827
会議費						74,161		74,161
旅費交通費						68,340		68,340
通信運搬費						24,112		24,112
減価償却費						145,012		145,012
消耗品費						3,007		3,007
消耗什器備品費						31,838		31,838
修繕費						18,277		18,277
電力費						109,424		109,424
光熱水料費						7,254		7,254
賃借料						88,622		88,622
保険料						3,954		3,954
諸謝金						233,000		233,000
租税公課						138,254		138,254
負担金						4,877		4,877
渉外費						0		0
委託費						48,994		48,994
雑費						6,016		6,016
経常費用計	14,446,396	12,644,081	4,636,324	31,726,801	28,151,171	2,985,196	0	62,863,168
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 14,446,396	△ 11,729,081	△ 4,562,260	△ 30,737,737	31,845,749	△ 2,739,894	0	△ 1,631,882
基本財産評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産供花損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 14,446,396	△ 11,729,081	△ 4,562,260	△ 30,737,737	31,845,749	△ 2,739,894	0	△ 1,631,882
2 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
① 雑益	0	0	380,980	380,980	0	38,520	0	419,500
雑益	0	0	380,980	380,980	0	38,520		419,500
経常外収益計	0	0	380,980	380,980	0	38,520	0	419,500
(2) 経常外費用								
① 什器備品除却損	0	0	0	0	0	0	0	0
什器備品除却損	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	380,980	380,980	0	38,520	0	419,500
他会計振替額			30,350,000	30,350,000	△ 33,350,000	3,000,000		0
当期税引前一般正味財産増減額	△ 14,446,396	△ 11,729,081	26,168,720	△ 6,757	△ 1,504,251	298,626	0	△ 1,212,382
法人税、住民税及び事業税					70,000			70,000
当期一般正味財産増減額	△ 14,446,396	△ 11,729,081	26,168,720	△ 6,757	△ 1,574,251	298,626	0	△ 1,282,382
一般正味財産期首残高			75,285,691	75,285,691	313,299,143	103,930,128		492,514,962
一般正味財産期末残高	△ 14,446,396	△ 11,729,081	101,454,411	75,278,934	311,724,892	104,228,754	0	491,232,580
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	20,000		20,000
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	20,000		20,000
III 正味財産期末残高	△ 14,446,396	△ 11,729,081	101,454,411	75,278,934	311,724,892	104,248,754	0	491,252,580